

安全なモバイル環境により高い生産性を実現

Adobe Document Cloud モバイル版アプリは、先進的なエンタープライズモビリティマネジメントソリューションを使用して企業のモバイル版アプリ配布および管理をサポートします

先進的なアプリケーション開発のリーダーとして、アドビは最先端のエンタープライズモビリティマネジメントソリューション (EMM) プラットフォームを利用し、企業が安全に Adobe Document Cloud モバイル版アプリを管理および配布できるようにしています。

ユーザーと組織のニーズに応える モバイルソリューション

モバイル技術は現代の企業のあり方を変革しつつあります。世界的に、一般企業で使用されているモバイルデバイスやアプリケーションの数は飛躍的に増加しています。また、従業員ひとりあたりの所有デバイスの平均数も増加しています。従業員が業務にスマートフォンやタブレットデバイスを活用することが当たり前になった今、時間や場所に関係なく仕事ができるデジタルエクスペリエンスが求められています。

企業はモバイルデバイスがもたらすメリットを十分に活用したいと考えています。それには、生産性、企業の効率性、業務スピードの向上、ワークライフバランスの改善、さらなるイノベーションなどが含まれます。そのため、世界中の企業はBYOD (bring-your-own-device 個人が所有する機器の持ち込み) や EOD (employee-owned-device 従業員所有のデバイス) プログラムを導入し、従業員が希望するデバイスを使用できるようにしています。多くの場合、これらのプログラムは潜在的なセキュリティ上のリスクを上回るメリットを企業にもたらしますが、デバイスが爆発的に増加しているため、どの企業のIT部門でも企業情報の安全性を確保することに尽力しています。

モバイル利用を安全に管理、推進

モバイル機器を効果的にビジネスプロセスと統合するため、多くのIT部門はモビリティのあらゆる側面を管理できる包括的なソリューションを追求しています。企業が継続的にBYODプログラムおよびEODプログラムを拡充し、モバイル版アプリを購入、構築、および実装していくにつれ、包括的なEMMソリューションの市場も急速に成長しています。

Adobe Document Cloud エンタープライズ版には、以下のものが含まれます。

- Adobe Acrobat DC デスクトップソフトウェア
- Adobe Sign (クラウドベースの電子サイン自動化ソリューション)
- クラウドベースのPDFサービス
- モバイル版アプリとwebアプリ
- 企業内管理とワークフロー制御
- エンタープライズシステムおよびオフィス生産性ツールとの連携

「弊社はグローバル企業であるため、特に経営幹部にとってモバイルデバイスで仕事ができることは重要です。アドビのモバイルデバイスでの使いやすさと機能性に驚いています。アドビは、どこでどのような方法で業務をおこなうとしても、アクセス性を確保するエクスペリエンスを提供してくれます」

BART VAN DEN HEUVEL 氏コーポレートプロキュアメントマネージャー、LeasePlan Corporation

EMMには、次の4つの主要な機能が含まれます。モバイルデバイス管理 (MDM)、モバイルアプリケーション管理 (MAM)、モバイルID、およびモバイルコンテンツ管理 (MCM) です。

- MDMは、モバイルデバイスのセキュリティ保護、監視、サポートに役立ちます。
- MAMは、アプリケーション管理に焦点を当て、IT部門が社内用、一般用、または購入したアプリケーションをそのライフサイクル全体を通して管理できるようにします。
- モバイルIDは、信頼できるデバイスおよびユーザーのみが企業リソースにアクセスできるようにするための、様々な認証メソッドを提供します。
- MCMは、モバイルデバイスからおこなう企業コンテンツの保管、配信、アクセスを安全にできるようにします。

EMMプラットフォームはこれらの技術を組み合わせることで、組織が迅速にモバイルアプリやデバイスを業務と連携させ、企業のセキュリティやコンプライアンスを保護しながら、従業員が希望するアプリケーションやデバイスを使用できるようにします。

どこからでもデジタル文書で作業可能に

Adobe Document Cloud エンタープライズ版は、世界最高峰のPDFソフトウェアである [Adobe Acrobat DC](#) と信頼性の高い電子サインソリューションである [Adobe Sign](#) を含むエンドツーエンドのデジタル文書コミュニケーションプラットフォームです。従業員は重要なビジネス文書を完全なデジタルワークフローで準備、保護、送信、およびトラッキングできます。Document Cloudには、簡単な実装と管理を可能にするエンタープライズクラスの管理ツールに加え、記録システムとの事前統合が含まれます。

Document Cloud モバイル版アプリでは、場所やデバイスを問わず、デスクトップ、モバイル、webのどの方法でも業務上の重要文書にアクセスできるため、いつでもビジネスを推進できます。Adobe Acrobat Reader DCとAdobe Signが含まれます。

- Acrobat Reader DC モバイル版アプリにより、ユーザーはどのスマートフォンやタブレットからでも、PDFを自由に表示、作成、および編集し、フォームに入力したり、注釈を追加したりできます。
- Adobe Sign モバイル版アプリがあれば、外出によって署名のプロセスが停止したり、遅延したりすることはありません。文書に署名すること、他の人から直接署名をもらうこと、保管された文書を検索すること、他の人に署名を依頼すること、署名プロセスをトラックすること、これらすべてをユーザーが自分のモバイルデバイスからおこなえるようになります。また、文書をオフラインで署名し、ユーザーが再度オンラインになった際に自動同期を行うことも可能です。

Adobe Document Cloud モバイル版アプリはユーザーの生産性を保ちます。

- PDFを開いて表示
- ファイルに簡単にアクセス
- PDFのテキストを編集
- 署名を収集
- ページを整理
- 証明書付き電子サインを直接取得
- PDFに注釈を追加
- 署名プロセスのトラックと管理
- PDFを作成して書き出し

Adobe Document Cloud モバイル版アプリをEMMで配布および管理

モバイルデバイスに重要なビジネス文書にアクセス、署名、および管理する機能が備わっているため、企業でこれらのアプリケーションを効果的に管理する必要が生じます。信頼されているモバイルビジネスアプリ開発のリーダーとして、アドビは企業に安全で信頼できるデジタル文書コミュニケーションを可能にする、世界クラスのモバイルアプリケーションを提供することに尽力しています。

アドビは文書プロセスを管理するために包括的なアプローチを採用しています。文書の作成中、送信中、オンサイトまたはクラウドに保存されているかを問わず、アドビが誇る強力なセキュリティの機能、プロセス、管理によりセキュリティ上のリスクを抑え、ビジネスを円滑に運営していくことができます。企業の安全管理をさらに強化するため、アドビはこれらの最先端のEMMプラットフォームを利用して、企業が安全にDocument Cloud モバイル版アプリを管理および配布できるようにします。

- **Android エンタープライズ版**—企業がDocument Cloud モバイル版アプリの安全で生産性が高く、豊かなモバイルエクスペリエンスを、企業のAndroidデバイスでも利用可能にする、GoogleのEMMプラットフォームです。
- **Microsoft Intune**—企業がクラウドやオンプレミスでアプリケーションとデバイス管理を使用し、様々なデバイスにあるDocument Cloud モバイル版アプリを管理できるようにします。

これらの先進的なEMMベンダーのテクノロジーを使用することで、企業はエンドユーザーのエクスペリエンスを損なうことなく、企業データおよび個人のプライバシーを保護することができます。Document Cloud モバイル版アプリは、企業クラスのモバイルセキュリティを促進しつつ、企業がデバイスや場所に関わらずにデジタル文書を使用できるようにする、傑出したユーザーエクスペリエンスを引き続き提供していきます。

デジタル文書のグローバルリーダー

アドビは安全なデジタル文書ソリューションを20年にわたって提供してきました。世界中の数十万社の企業がAcrobatソフトウェアとPDFを信頼し、重要なビジネス文書の作成、保護、共有に日々役立てています。さらに数万社の企業が文書の署名管理にAdobe Signを採用しています。

詳細情報

Adobe Document Cloudについて詳しくは、<https://acrobat.adobe.com/jp/ja/documents/for-business.html>をご覧ください。

